



日タイ友好に一役 都留市バレーボール連盟

都留市バレーボール連盟の一行二十四人は、タイバレーボール協会の招きで、七月三十日から八月四日までタイを訪れ、タイの高校ナンパーワンチーム、サイナンブン学園などと試合をする中で、日タイ交流の一役を担いました。

今回の訪問のきっかけは、昨年東京で開かれた世界ミニバレーボールシンポジウムに参加したタイバレーボール協会のコーチら三人が都留市を訪れ、ママさんチームやスポーツ少年団チームの練習を視察し、そのお返しにと都留市のバレーボール連盟を招待したものです。



▲タイのバレーボール専門紙の表紙を飾った、対サイナンブン戦

使節団は、市バレーボール連盟の清水政雄理事長を団長に桂高女子バレー部を中心とした二十四人で、タイでは全日本並の優遇を受け、タイのバレーボール専門紙の表紙や全国紙に大見出しで紹介されました。

また、対サイナンブン戦を行った国立体育館には、約一万人の観客が詰め掛け、盛大な歓迎を受けました。



十二分に友好親善の役目を果たしたと語る清水団長



▲国立体育館での試合前に紹介されるメンバー